vinetur

豪ワイン研究所、2026-27年夏季を前にブドウ生産者へ山火事の煙への早期対策を呼びかけ

煙害への備えとして、リアルタイム監視、収穫約3週間前の検査、21品種のデータベースを生産者に案内

2026年11月10日（火）



オーストラリア・ワイン研究所（AWRI）は11月10日火曜日、オーストラリアが2026-27年の夏季に入るにあたり、ブドウ生産者とワイン醸造家に山火事と煙への早期の備えを呼びかけた。ブドウやワインへの煙害リスクの低減を目的とした技術資料、監視ツール、検査サービスを紹介している。

業界向けの通知で同研究所は、煙害に関する情報ページに、サンプリング、試験機関での検査、結果の解釈、感覚への影響、考えられる軽減策についての指針をまとめていると説明した。また、事例研究やポッドキャストを含むWine Australiaの火災・煙に関する資料に加え、Wine Victoria、South Australian Wine Industry Association、ニューサウスウェールズ州政府、南オーストラリア州のPrimary Industries and Regions省、Wine Tasmaniaが提供する州ごとの情報も紹介した。

この呼びかけは、猛暑や火災、煙の飛来がブドウの品質を脅かし、収穫計画を複雑にしかねない時期に、ブドウ畑やワイナリーが入る中で行われた。煙への曝露はワイン生産者にとって大きな懸念事項だ。ブドウが取り込んだ化合物が後に香りや風味に影響を及ぼすことがあり、業界では一般にスモークテイントと呼ばれている。

AWRIによると、火災発生前や発生中の状況把握に役立つ公的・民間の各種ツールが利用できる。これには、オーストラリア気象局の熱波予報、NASAのFire Information for Resource Management System、Sentinelの山火事ホットスポット・ライブマップ、Wine Industry Smoke Detectors、AirRaterアプリが含まれる。同研究所はまた、発生中の火災に関する警報や最新情報

を得るため、各地域の州政府が提供する火災・緊急情報アプリをダウンロードするよう生産者に勧めた。

現在、業界の対応の柱となっているのが、ブドウ畑での監視だ。AWRIによると、Wine Australiaの資金提供を受けた研究により、Wine Industry Smoke Detectors（WISDs）と呼ばれる現地設置型煙モニターのネットワークが開発された。このシステムは、シーズン中にブドウ畑のスモークテイントリスクをリアルタイムで評価するよう設計されている。モニターは現在、商用利用されており、業界関係者はオンラインで情報を確認できるという。

同研究所は、ブドウの検査時期に関する指針も改めて示した。煙害分析用のサンプリングは収穫のおよそ3週間前に行うべきだとしている。収穫の判断前に果実を試験機関へ輸送し、検査を終えるための時間を確保するためだ。AWRIによれば、同じ分析方法を用いることを条件に、検査結果を同研究所の煙マーカー化合物のバックグラウンドデータベースと比較できる。これにより、生産者は検出された濃度が特定品種にとって通常と異なるかどうかを判断しやすくなる。

同研究所によると、このバックグラウンドデータベースには現在、オーストラリアで栽培される21品種の情報が収録されている。AWRIは、商業上の判断に用いるための検査では、ヴェレゾン前のブドウや葉のサンプルを対象にすべきではないと説明した。これらのサンプルについては、結果の解釈に役立つバックグラウンドデータベースがないためだ。

AWRIによると、同研究所の商業部門であるAffinity Labsが発行するすべての検査結果には、サンプルとバックグラウンドデータの比較を示すグラフが付く。こうした比較の活用方法について詳しく説明した記事も、生産者向けに案内した。また、現在、商業用の煙害分析サービスを提供しているのはAffinity Labsのみだという。一方、AWRIのヘルプデスクでは一般的な助言を提供し、Affinity Labsの検査結果の解釈も支援している。

通知では、複数のワイン産地に大規模な煙害が及んだ場合の対応についても説明した。AWRIはWine Australia、地域団体、その他の関係者と連携し、技術情報を共有するとともに、サンプルの採取や輸送の手配を支援するという。被災地域で質疑応答の機会を設けることも可能で、オンラインまたは対面とオンラインを組み合わせた形式になる見込みだ。また、試験機関での処理時間を短縮するため、地域内でのサンプル調製も支援できるとしている。

AWRIによると、Affinity Labsは2020年以降、煙害検査の能力を拡充しており、大規模な煙害が発生した場合には分析能力を速やかに増強する。緊急時対応計画や検査結果の解釈について支援を求めるブドウ生産者やワイン醸造家には、同研究所のヘルプデスクへの連絡を呼びかけた。Wine Industry Smoke Detectorsに関する質問は、Wine Australiaに問い合わせるよう案内している。